

### 3. 人文・文化学群 (1) 学群コアカリキュラム

人文・文化学群学群コアカリキュラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA11111	人文情報学	1	1.0	1-4	秋AB	火5		堤 智昭	人文情報学に関する講義・演習。人文分野への情報技術応用に関する講義、及び演習を行う。演習では、情報分野で使われているプログラミング・データベース・ネットワークについて実際にコンピュータを使いながら学習する。	対面
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	火1		檜垣 良成	哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(同時双方向型)
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4	1C310	板東 洋介	引き続き倫理学の基本的概念と方法について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 日本語での授業であり、それに対応可能な短期留学生は受け入れる
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	金3		保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(オンデマンド型)
AB70B21	古代西アジア史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金4	1H101	山田 重郎	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 教職の教科に関する科目「オリエンタリズム概説-b」に相当。 オンライン(オンデマンド型)
AB70C11	中国史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木4		上田 裕之	「草原と中華の関係史」前編・農耕の始まりから10世紀まで。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(オンデマンド型)
AB80B21	考古学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	1H101	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、日本考古学の成果と課題について講義をおこなう。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面
AB80C11	民俗学概説	1	1.0	1・2	春AB	金4		中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、家・家族の民俗に焦点をあてながら、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(同時双方向型) manabaで後日通知する
AB90A11	言語学概説-a	1	1.0	1	春AB	火1	1C210	池田 潤, 白山 利信, 佐々木 勲人, ジャクタ ブルノ, ダニエル フィリップ, 住大 恭康	世界の多様な言語を概観した上で、言語とは何かについてともに考える。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB90B21	応用言語学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	火6		卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文, 小泉 利恵	応用言語学全般にわたり概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火5	1C210	加賀 信広	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとして履修できない) 対面 状況によってはオンライン(オンデマンド型)
AC50A41	日本研究概論II	1	1.0	1・2	春AB	木4	2B507	山澤 学	日本研究に関する基礎的知識と研究方法について、参考文献や地域資料の講読を通じて、日本史(文化史・社会史)の視点から考察する。日本史における通史を意識しつつ、I. 日本をめぐる歴史認識と思想状況(第1~3回)、II. 日本史を視る眼(第4~7回)、III. 日本研究と「事実」(第8~10回)に関する論点を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとして履修できない) G科目 実務経験教員 対面
AC50A91	アジア研究概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	2C404	山本 真, 吉水 千鶴子	アジアの社会と文化について、歴史を概説する。地域を東アジア圏、南アジア圏にわけて、時代相の大きな画期に留意しつつ、歴史の展開と地域間の交流を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとして履修できない) AC50151, AC50161の単位取得者は履修できない。 対面
AC50E41	文化地理学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3		森本 健弘	文化地理学とは何かについて、およびその基礎概念である文化地域、文化生態、文化景観等について、具体的な事例を交えつつ講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとして履修できない) オンライン(オンデマンド型) AC50551の単位取得者は履修できない。
AC50G01	先端文化学概論	1	1.0	1・2	秋AB	火6	2B411	濱田 真	文化についてどのような観点から論じることができるか。近現代ドイツを中心にさまざまな文化事象や文化理論を取り上げながら、文化学の多様なあり方について考察する。	対面(オンライン併用型) ★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとして履修できない) AC50701の単位取得者は履修できない。
AC50H71	比較宗教概論II	1	1.0	1・2	秋AB	木3	2B309	木村 武史	人類の宗教史を通じて多様な宗教現象が形成された。今日まで継続しているものもあれば、過去において途絶えたものもある。宗教現象は多様な要素で構成されるため、宗教へのアプローチも多角的になる。本授業では、宗教の学説史において重要な著作や視点を学びながら、具体的な宗教現象についても知識を深めていく。近世以降の宗教、先住民宗教、日本の宗教を取り上げる。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとして履修できない)。 対面 AC50861の単位取得者は履修できない。
AE53B31	言語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	2B208, 2B209	澤田 浩子, 石田 尊, 今田 水穂	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE52A21の単位取得者は履修できない。 対面
AE53B41	日本語教育概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	2G407	入山 美保, 神吉 宇一	日本語教育史や国内外の日本語学習者の現状、日本語教師の役割等を学び、日本語教育の方法や意義について考える。	対面(オンライン併用型) オンラインは同時双方向型。
AE53B51	日本の文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	2B507	江口 真規	日本の文学が海外の文学との関わりの中でどのように形成され評価されてきたのか、主に英語圏を中心とする日本文学の翻訳・受容との比較を通して学ぶ。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE53A21の単位取得者は履修できない。 対面 短期留學生の場合、日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。

## (2) 人文・文化学群グローバル科目群

### 人文・文化学群グローバル科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA21411	トルコの言語と文化 Ia	1	1.0	1 - 4					この授業はトルコ語の基礎となる文法の習得を目指し、「読む」「書く」「話す」「聞く」という四つの技能を育むことを目標とします。さらに、トルコの日常生活やトルコ事情を学び、トルコ社会と文化の理解につなげたい。	2023年度開講せず。
AA21421	トルコの言語と文化 Ib	1	1.0	1 - 4					この授業では「トルコの言語と文化 Ia」で習得した基礎文法の実践や簡単な会話の練習をします。さらに、トルコ語で書かれた文章の読解と会話表現のレベルアップをはかります。トルコ文化やトルコ社会についても楽しく学びます。	2023年度開講せず。
AA21703	ベトナム国際研修	3	3.0	2 - 4					本学の協定校であるホーチミン市師範大学において、ベトナム語の基礎を集中的に学ぶとともに、体験学習を通してベトナムの社会や文化について理解を深める。	対象:全学群 受入先:ホーチミン市師範大学 日本語学部 日本語及び英語で行う。 AA21661, AA21701 単位修得者は履修不可。 2023年度開講せず。 G科目
AA21771	南アジアの言語と文化 II	1	1.0	1 - 4	春季休業中	集中			南アジアの多様な言語と文化の動態について講義する。2022年度は、インドにおいて公用語として広く用いられるヒンディー語の基礎を解説する。	
AA21803	海外プロジェクト研修 (ロシア語圏)	3	2.0	1 - 3	夏季休業中	集中		臼山 利信, 山本 祐規 子, INSEBAYEVA Sabina	ロシア語圏という広大な時空間を体感し、現地の社会情勢や対日関係に関する生きた最新情報に触れることで、各自の専門分野の視点からロシア語圏についての考察を深めるとともに、将来のビジョン形成につながる経験を積むこと。	詳細については、掲示板を確認すること。事前研修(複数回実施)に参加できること。履修登録は事務で行う。詳細後日周知。 G科目

## (3) 学群インターンシップ

### 人文・文化学群インターンシップ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA29113	国内インターンシップ	3	2.0	2 - 4					日本国内の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、卒業後のキャリア設計を考える機会とすると同時に、就労に必要な実務能力の伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1. 実務の現場を経験し、卒業後のキャリア設計を考える。 2. 実践を通じて、ビジネスマナー、仕事の進め方などの実務能力を身に付け、向上させる。 3. 大学での学修と社会との接点を見出し、今後の学修・研究への意欲を高める。	2023年度開講せず。
AA29213	海外インターンシップ	3	2.0	2 - 4	通年	応談		臼山 利信, 山本 祐規 子, INSEBAYEVA Sabina	在外の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、海外での仕事に必要な語学力、および国際交渉力などの伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1. 実践を通じた実用的な外国語運用能力の伸長 2. 異文化社会の中で逞しく渡り合う国際交渉力の実践 3. 海外での就労を視野に入れたキャリア設計、将来ビジョンの形成	詳細後日周知。 G科目